

1	審議会名	丸子地域協議会
2	日時	令和7年12月25日(木曜日) 午前10時から午前10時58分まで
3	会場	丸子地域自治センター 4階 講堂
4	出席者	小林勉会長、宮下由紀副会長、伊藤孝二委員、上野隆子委員、黒岩敏雄委員 清水真季委員、田中幸子委員、田村卓也委員、手塚博邦委員、中山康昭委員 二瓶由美委員、長谷屋淳一委員、柳沢裕美委員、吉池由美委員、割田栄二委員
5	市側出席者	翠川丸子地域自治センター長、半田丸子地域自治センター次長兼地域振興課長 久保田丸子地域振興政策幹兼丸子地域教育事務所長、山崎丸子市民サービス課長 茅野丸子産業観光課長、内堀丸子地域建設課長兼丸子地域農地整備事務所長 矢ヶ崎丸子・武石上下水道課長、松崎丸子消防署長 【ごみ減量企画室】中山室長、小平室長補佐兼ごみ減量企画係長 【丸子地域振興課】山越地域政策担当係長、山浦主任、青木主任、中島主任
6	公開・非公開等の別	公開 ・ 一部公開 ・ 非公開
7	傍聴者	0人 ・ 記者 1人
8	会議概要作成年月日	令和8年1月7日

1	開 会 (センター次長)
2	あいさつ (小林会長)
3	報告事項 (進行 小林会長)
	(1) 有機物リサイクル施設整備について 【資料1】
	・ 塩川地区陣場台地に整備予定である有機物リサイクル施設整備事業の今後の方針について、ごみ減量企画室より説明。
	<質疑・応答>
(委 員)	海外には、街角に生ごみを入れるための回収ボックスが設置されている。プラスチックの袋に生ごみを詰めて収集すると、袋の処分に莫大な費用が発生したり、害獣に食い荒らされたりする恐れもある。同じように回収ボックスを用意する方法はどうか。
(担当課)	「有機物リサイクル推進会議」を立ち上げて、分別・収集方法について検討してきた。その中で、地域の皆様に負担が少なく理解や協力を得られやすい方法として、生ごみを袋に詰める方法が提案されている。 また、長和町では生分解性袋というでんぷんで固めた袋を使用している。単価が高く、保存期間が1年というデメリットがあるが、微生物の分解により自然界に還るため、袋ごと堆肥化が可能である。施設建設の見合わせに伴い、分別収集の手法についても再検討していく。
(委 員)	そもそも、有機物リサイクル施設整備事業の起こりはどのようなものだったのか。上田市中心部の住民の要望によって事業の検討を始めるようになったのか。ごみ減量化に取り組む中で、市の将来に必要な施設となって市が主導で事業を進めようとしたのか。
(担当課)	資源循環型施設(新統合ごみ焼却施設)を作るにあたり、3つのクリーンセンターを建設するよりも規模を小さくするべきであり、そのためには全市でごみの減量に取り組むべきだという強い要望が、秋和・塩尻地区の住民から出ている。焼却施設の新設が予定されている秋和・塩尻地区周辺だけではなく、ごみの減量・再資源化は全市民の問題だということが一番の理由となる。 また、上田市街地では生ごみの自己処理が難しく、可燃ごみとして出すしかない場合が多い。そのため、生ごみだけ分別して収集することへの要望が以前からあった。
(委 員)	一旦スタートした公共事業はなかなかブレーキがかからないものだが、このような状況の変化による見直しはやむを得ないと思う。 ニーズが高かった事業の見合わせをするならば、市民の方に十分説明して、理解していただく

必要があると思う。丸子においても、長い間論議してきた長瀬・塩川地域の9自治会へ十分な説明をしていただきたい。

ごみ処理施設が統合されて丸子クリーンセンターが廃止になった場合、家具や木材等の可燃ごみの持ち込みはどうなるのか。丸子クリーンセンターの機能は完全に無くなってしまうのか。

(担当課) 令和7年12月12日、長瀬・塩川地域の9自治会との調整会議において、有機物リサイクル施設整備事業の当面見合わせについて説明した。また、9自治会に対して12月15日付けの全戸回覧を実施している。

市としては、資源として利用できるものを焼却処分することは、勿体ないと考えている。落ち葉を生ごみと合わせて堆肥化するような全国の優良事例も参考にしながら、引き続きごみの減量化に取り組んでまいりたい。

(担当課) ごみ処理施設統合後の丸子クリーンセンターにおける剪定枝木等の回収について、今の段階ではお答えできない。費用対効果や利便性のバランスを考慮して検討していく。

(委員) コンポスト等の購入補助は現在も続いているのか。

(担当課) ごみ減量化機器購入費補助制度は継続している。生ごみ処理機とコンポストの補助率は、購入金額の5分の4まで。補助上限額は生ごみ処理機が5万円、コンポストが5千円となる。ただし、今年度予算分は終了している。

(3) 分科会等での検討状況及び報告について

ア 公共交通に関する分科会
休会のため報告なし

イ 福祉・子育てに関する分科会
前回、子育て支援に関する情報をどのように発信していくべきかについて協議した。今回も引き続き検討したい。

ウ 文化財・歴史分科会
休会のため報告なし

<質疑・応答>
なし

4 その他

(1) 今後の協議会日程について

第10回 1月29日(木) 午前10時 丸子地域自治センター 4階 講堂

第11回 3月13日(金) 午後4時 丸子地域自治センター 4階 講堂

5 閉会

《分科会》

公共交通に関する分科会	休会
福祉・子育てに関する分科会	3階 第3会議室
文化財・歴史分科会	休会